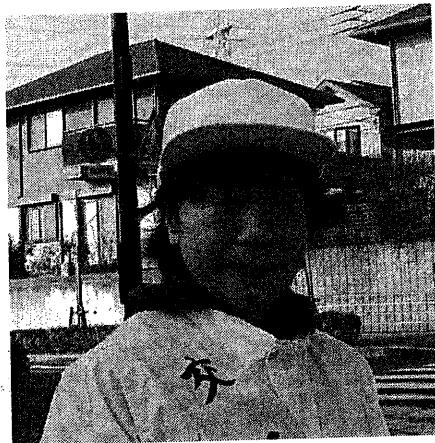


# 会員のひろば



西田 信子 祝園 南

## 「緊張の数十分」

平成15年9月に会員となり、就業機会を与えていただき、慣れながらも無我夢中で始めての業務として集会所の清掃にあたりました。清掃業務も気の使いたいへんな業務でした。その後、児童安全誘導の業務につきましました。

子供たちが登校する危険がい

っぱいの1時間です。

横断中は一瞬たりとも気は許されず細心の注意が必要です。遅れてくる子供たち、忘れ物で戻る子供たち。

緊張の数十分。雨の日も雪の降る日も子供たちを精一杯見守ること。

私の眠っていた脳が刺激を感じ活発にさせてくれます。又、SP事業では料理・ペン習字等、和気あいあいの雰囲気の中、時間が過ぎ余暇で自分を磨けることにとっても幸せな気持ちになりました。最後になりましたが4月より任意団体から社団法人になりますこと、理事長・事務局長・役員・職員の皆様の尽力のおかげと感謝しております。私も元気でいつまでもシルバー人材センターでお世話になれますことを願い活動報告いたします。ありがとうございます。



## しめ縄作り講習会

開催日 平成16年12月24日  
講師 一宮 清光氏

平成16年12月25日の京都新聞朝刊の記事を掲載いたします。寒い中、明るい新年を祈りわらと格闘いただきました。ご苦勞様でした。



(精華町)

## しめ縄作り教室

慣れない手でわらを懸命にねじり、稲穂を丁寧に飾り付ける。精華町光台の関西学研都市展示館で二十四日、しめ縄作り教室が開かれ、迎春ムードに包まれた写真。伝統的な風習を伝えたいと、町シルバー人材センターが会員や住民向けに開催。野外の芝生に広げたシートの上で、約五十人がわらと格闘しながら挑戦した。経験のない人にとっては思ったより難しい作業だ。主婦(五十)は「初めてだから不格好だけど買うよりいい。来年はいい年になりますように」。

## 伝統的風習 住民ら挑戦

